

秋田ブロック協議会 ブロック大会運営委員会

事業計画

委員長 久間田 稔

1 私たちの住む秋田県は人口減少、少子高齢化の問題を抱える一方、豊かな自然環境や古
2 くから継承される伝統的な祭りや文化など人々が心安らぐ財産が多くあり、問題を打開す
3 る先進県となるべく取り組みをする好機を迎えています。今こそ我々責任世代が、秋田の
4 現状に対して一層当事者意識をもつとともに、気概と情熱をもったリーダーとして地域を
5 牽引しながら次代につなげ J C 運動が地域社会に浸透し地域の活力となる必要があります。

6 まずは、我々の運動が地域に浸透し地域の活力となるために、ブロック大会を開催し、
7 地域が輝くまちづくりを発信することで、我々が県民とともに秋田の現状に対しての共通
8 認識をもち郷土愛を醸成します。そして、地域益を生み出すために、ブロック大会へ多く
9 の会員の参画を図り、ブロック協議会と各 L O M が連携を取り合い結束力を高めることで、
10 会員相互の盛んな交流を推進します。さらに、ブロック協議会の紡いできた歴史を我々が
11 次代に継承していくために、過去の資料を参照し、変わらないために変わり続けることを
12 意識しながら、今年度の事業の実施、検証に取り組み、今後のより発展したブロック大会
13 へとつなげます。また、県民に J C 運動への理解をして頂くために、各 L O M の素晴らしい
14 事業の成果を県民に対して発信する褒賞事業を実施し、地域社会への活力となるきっか
15 けを生み出すことで、我々が地域から頼られる組織として発展します。そして、各 L O M
16 間により強固な連帯感をもつために、会員相互に協力しながら新たな出会いの創出と、友
17 情を深める会員交流事業を実施することで、今後のブロック協議会の飛躍に邁進します。

18 ブロック大会を通じて戮力協心の精神のもと、ブロック協議会と各 L O M が強固な連帯
19 感をもち、我々が地域を牽引する魅力溢れる人財となり、秋田の現状へ当事者意識をもつ
20 た県民とともに、地域の魅力を活かし豊かな生活を送れる高質な田舎の秋田を実現します。

21 22 < 事業計画 >

- 23 1. 第 4 8 回秋田ブロック大会 in 鹿角の企画・運営
- 24 2. 今後の秋田ブロック大会の在り方についての検証・報告
- 25 3. ブロック内褒賞事業の実施及びその他褒賞に関わること
- 26 4. 会員交流事業の企画・運営